

ある日、息子が消えた。
現実的ってなに？

それは、ただの終わり

STORY

有害物質を放っているとする正体不明のバルーンが浮遊する東京で、ある日忽然と姿を消した大学生の臣(おみ)。手がかりを求めて上京した臣の母・衣舞(えま)は、息子の恋人・みどりとともにその消息を探る。話がすれ違う2人だったが、やがて臣は生死に関わる危険にさらされているのではないかという疑念が浮かび上がる。

短編ながらも先の読めないスリリングなストーリー

ASTRO AGE

STORY

若手サイエンスライターのみさきは、有人小惑星探査を成功させて地球に帰還した宇宙飛行士へのインタビューを任せられる。夢のようなオファーに張り切っていると、やがて思いもよらない宇宙観に遭遇する――

憧れの人へのインタビュー
何を聞けばいい？

現実と地続きの世界の中で紡ぎ出される幻想譚

仕事に行くふりをして
釣り三昧の毎日だったのに。

つれない男

STORY

男は毎朝スーツに身を包み、妻に見送られて家を出る。しかし向かうのは会社ではなく、いつもの川。素人の釣り人をあざ笑い、ただひたすら釣るのだったが――その夜、帰宅した男は自分のしじりに呆然とする。

何かに心奪われ虜になる人々を描き、独特の世界観で短編映画を発表してきた小川貴之監督。最新作『それは、ただの終わり』では、突如現れた未確認物体「バルーン」に囚われながらも失踪した息子の消息を探し求める母を映し出す。疑惑と真実に揺れ動かされる姿を丹念に追いかけて、観る者の予想を裏切る怪物が誕生した。各編の主演には、黒沢あすか『それは、ただの終わり』、小西桜子『ASTRO AGE』、荒谷清水『つれない男』と、個性的かつ実力派の俳優を迎え、運命の岐路に立つ人間の心情を繊細に表現している。

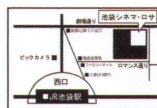
@3torikoFilm
roppon-project.com/3toriko

小川貴之短編集

3つのとりこ

2022.4.23(土) - 4.29(金・祝)
1週間限定レイトショー

前売り 1,300円
一般 1,500円
大学生 1,300円
高校生以下 1,000円



池袋西口・ロサ会館
池袋シネマ・ロサ
03-3986-3713
www.cinemarosa.net